



- Women in Leadership -



- LGBT -



- Inclusion -

SSU DIVERSITY LAB NEWS#1



NEWS

「SSU DIVERSITY LAB」発足。 SSUの「32の制度」に新たな2制度導入決定。

新たに発足した「SSU DIVERSITY LAB」。
今後不定期で当社及び国内外のダイバーシティに関する広い話題をお届けしていきます。

今回は、このプロジェクト発案で導入が決まった2つの新たな制度をご紹介します。
と、その前に、初回ということでサニーサイドアップが考える「ダイバーシティ」と、当プロジェクトに関してのご紹介です。

◎SSUとダイバーシティ

「たのしいさわざをおこしたい」という価値観でつながったサニーサイドアップの私たち。そんな強い芯があるからこそ、その柔軟さと振幅の大きさがサニーサイドアップらしさの1つ。だからこそ、それぞれの働き方、遊び方、生き方を尊重しあうことは、ごく自然なことだと考えています。お互いの距離は、持ち前の好奇心と想像力で縮め、個を大切にするユニークな文化が30年の時の中で幾重にも編み込まれてきました。例えば、社員の半数が女性、年齢による定年退職無し、国籍学歴信条不問の採用、といった当社の在り方は、カテゴリー的に多数か少数かという狭義の多様さを推進するものではなく、当社を彩り形づくる個の根本を成す生き方そのものから尊重しあえる集団でありたいとの考えから生まれているものです。

◎「SSU DIVERSITY LAB」設立の背景

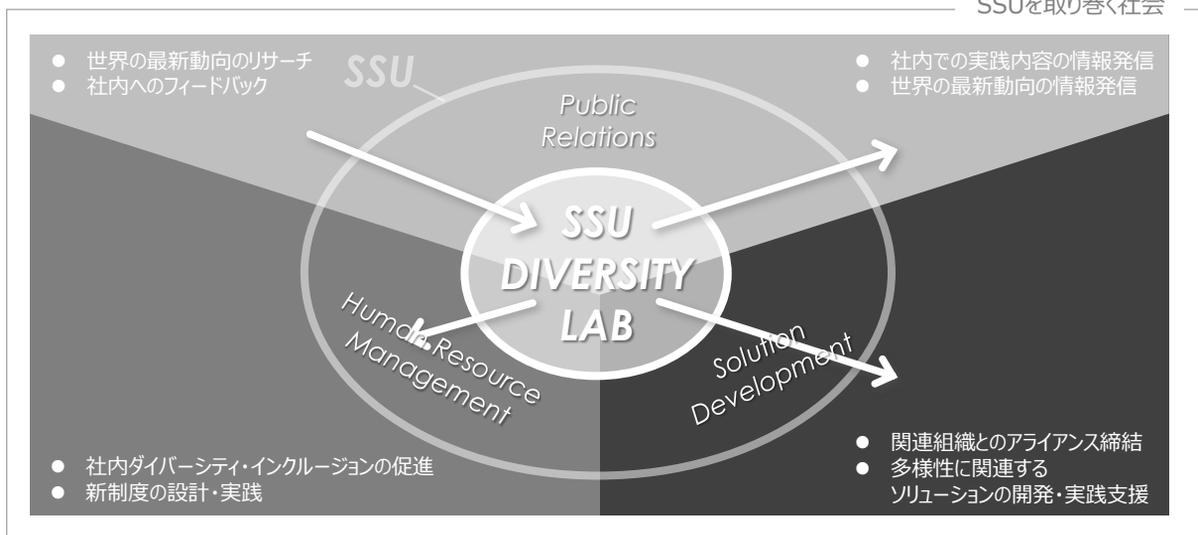
2015年7月で当社は創業30周年を迎えます。より一層、私たちがらしさに磨きをかけていきたいとの想いから当プロジェクトを発足させました。ダイバーシティを貪欲に追い求めることは、私たちがらしさの追求に他ならないからです。丸30年の中では成功と失敗を繰り返し、幾ばくか大人っぽくもなり、当初のやんちゃさも薄れたのではなどと省みることも多くなり、原点回帰という意味も含めて、創業30周年プロジェクトの一つとして考えられました。この活動のリーダーには、会社の創業から丸30年、サニーサイドアップとともに生き、私たちがらしさの顔でもあるバイスプレジデントの松本理永（輝く3児の母！）を任命。さまざまな機会を通じて、ダイバーシティの意義を世の中に発信していきます。

◎「SSU DIVERSITY LAB」の活動イメージ

「SSU DIVERSITY LAB」は、「We're all the same, because We're all different.」のスローガンを持った社内横断的なプロジェクトであり、主に3つの機能を持ちます。

① 社内の多様性を育む制度の企画実践 ② 実践内容や最新動向の情報発信 ③ ソリューションの開発支援

SSUを取り巻く社会





①卵子凍結補助を含む「Dear WOMAN」制度

「Dear WOMAN」制度とは、女性が今以上に安心して輝いて働くための選択肢を会社として用意したいと考えたため採用された制度であり、具体的には、「卵子凍結補助」、「妊娠・出産に関する勉強会の定期実施」、「パートナー探しの支援」の3つから成ります。卵子凍結については、海外では昨年AppleやFacebookによる導入が、また、今年に入ってから日本では浦安市による取り組みが話題になりましたが、現在なお様々な議論がなされています。当社による卵子凍結補助の制度化は、晩婚や高齢出産、激務を奨励することを意図したものではなく、卵子凍結を積極的に勧めるものでは決してありません。妊娠・出産に関しては「早期に・自然に」が望ましいと考えております。

当社で働く女性が、出産適齢期に自然な妊娠・出産ができない、または、女性が自ら出産適齢期に自然な妊娠・出産を行わない意思決定をした場合を想定して、金額的負担というリスクを少しでも解消するために、資金援助をしたいと考えるに至ったものです。社として、社員が豊かに生きる選択肢を与えたいと考えており、その選択肢のひとつが卵子凍結ということです。

また、このディスカッションを進める中で、早期の自然な妊娠・出産に至らない理由は大きく2つあり、それは「妊娠・出産に対する正しい知識がないこと」また「そもそもパートナーがいないこと」だと考えるに至りました。そこで、当社は、卵子凍結補助を制度化する前提として、定期的に専門家を招いて楽しくも真剣に勉強会を行い（当社が企画運営するレストラン「bills」で美味しいごはんを食べながら）正しい知識を養う機会を設けると同時に、パートナーを探すことができる制度も設けました。

このように、正しい知識を身に付ける機会、良きパートナーを探す機会、そして、卵子凍結に関わる支援を会社と提供することで、女性がより安心して輝いて働くための選択肢を用意したのが、この「Dear WOMAN」制度です。女性が創業者であり、現在も次原が代表取締役社長を務め、社員の半数を女性が占め、という創業から30年間にわたり女性が活躍してきた会社であるという事実、さらに、社会のコミュニケーションを扱うPR会社だからこそできる社会的な役割があると考えています。当社自ら、社会が直面する課題に積極的に取り組み、実践し、身をもって示し、その姿を世の中に発信していくこと。これらは、そんな当社だからこそ取り組む意味があることなのだと考えています。



②同性婚を結婚の定義に含めた「パートナーシップ」制度

同性婚を結婚だと正式に認めた「パートナーシップ」制度を採用した理由は、特別なものではありません。これまで述べてきたとおり、当社は多彩な価値観を認め合う会社であり続けたいと考えています。また、そんな社会をつくることに少しでも貢献できたらと思っています。



当社はこれまで、セクシュアル・マイリティと称され、未だ社会に十分に受け入れられていない「LGBT」の社会的な認知を高めるためのPR活動を行ってきました。活動の拠点であった私たちが住まう東京都渋谷区においても、本年4月、全国で初めて同性カップルのパートナーシップを結婚に準じる関係として認めた「パートナーシップ条例」が施行されました。今回の制度名も、渋谷区の先進的な取り組みを受け、その名称に倣わせていただきました。



性別、人種、年齢といったカテゴリーの多様性に留まらず、考え方や生き方の多様性を認めていきたいと考えている当社にとっても、当社規程の中で同性婚を結婚の定義に含めることは、ごく当たり前の自然な判断だと考えています。



◎サニーサイドアップの32の制度とは

「たのしいさわぎをおこしたい」。そんな当社には、一生懸命たのしく働いてほしいという願いが詰まった「32の制度」があります。現在は、「たのしいさわぎ創造支援」「Happy Sunny Days」「サニーベイベー支援」「恋愛勝負休暇」「失恋休暇」「離婚休暇」などなど、当社らしさに発揮した制度が盛りだくさん。今回、新たに2つの制度を拡充してさらにパワーアップしました。

32の制度一覧

<http://www.ssu.co.jp/corporate/32rule/>



制度詳細について

① 「Dear WOMAN」 制度

- パートナー探しのお手伝い
(詳細は現在計画中)
- 「大人の女子会」発足
 - ・ 出産・育児の経験のある先輩女性との懇談・交流の場
 - ・ また専門医を招いて妊娠出産に関する勉強会を実施
 - ・ 当社が企画、展開するレストラン「bills」で美味しく楽しく学びます。
- 卵子凍結補助金
 - ・ 卵子採取から保存等に至る総額の30%を負担します。
 - ・ 卵子凍結を希望する社員には当社と契約を締結している専門医を紹介します。

② 「パートナーシップ」 制度

同性婚・事実婚をした社員に対して、

- 「結婚休暇」を付与します。
- 「結婚祝金」を贈呈します。
- 配偶者が出産した際の「出産祝金」を贈呈します。

※事実婚とは、未届の妻または夫と世帯を同一にすることを指します。

※同性婚とは、同性のパートナーと挙式を行うこと、あるいは結婚関係であると相互に認めることを指します。

本件に関するお問い合わせ先

株式会社サニーサイドアップ 社長室広報ユニット 担当 (山崎・皆川)

MOBILE : 080-3523-2927(山崎)

E-MAIL : info@ssu.co.jp

TEL : 03-6894-3232

FAX : 03-5413-3052